

2019年度 理事会：議事録

日 時：2019年8月23日(金)15時00分～17時00分
場 所：日本大学商学部本館3階31会議室
出席者：藤田主一（理事長）、古屋健（副理事長）、
伊坂裕子、市川優一郎、伊藤令枝、
浮谷秀一、臼井伸之介、角山剛、
上瀬由美子、輕部幸浩、川本利恵子、
来田宣幸、北川公路、木村友昭、小林剛史、
田中真介、谷口淳一、外島裕、内藤哲雄、
中井宏、永田陽子、深澤伸幸、松田浩平、
森脇保彦、八木善彦、山本勝則、蓮花一己
(以上、理事)
加藤博己（以上、監事）
垣本由紀子、田之内厚三、長塚康弘、
南隆男、森下高治（以上、名誉会員）
事務局：市川優一郎（事務局長）、輕部幸浩（幹事）
(敬称略、五十音順)

I 理事長挨拶（藤田主一理事長）

- 理事長より、出席された理事、名誉会員の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

II 第86回大会委員長挨拶（外島裕大会委員長）

- 明日から開催される第86回大会の説明と抱負が述べられた。

III 出席者自己紹介

IV 報告事項

1 事業報告

- 会員の異動および会費納入状況（市川優一郎事務局長）
 - 2019年3月31日現在、および2019年8月20日現在の一般会員、院生会員、学生会員、賛助会員は、合計6名の会員減少であった。会員数は1,117名である。
 - 2016年度から2019年度の会費納入状況についての説明があった。

2 委員会報告

- 機関誌編集委員会（輕部幸浩委員長）
 - 論文投稿の投稿状況と審査終了論文について説明があった。
 - 機関誌『応用心理学研究』の表紙の色についての説明があった。

- 2019年8月15日にJ-STAGEへの初回公開が行われ、以降は機関誌発行後の3ヶ月を目途にJ-STAGEに公開していく予定である。
- 『応用心理学研究』投稿・執筆規程について全面的に改訂を行う。

2) 企画委員会（臼井伸之介委員長）

- 2018年度の活動報告として、第85回大会にて行われた研修会Aと研究会B、公開シンポジウムの報告があった。
- 2019年度の活動報告として、第86回大会の研修会Aは高史明氏、研修会Bは内藤哲雄氏であるとの報告があった。
- 今年度の公開シンポジウムは、「妖怪と心理学：私たちが得たもの失ったもの」と題して、12月30日（土）東洋大学白山キャンパスで開催予定である。

3) 広報委員会（田中真介委員長）

- 『応用心理学のクロスロード』の内容を改訂する方針であるとの報告があった。
- 『応用心理学のクロスロード』Vol.12の発行スケジュールについて、説明と原稿の依頼があった。
- 各号の編集は、Vol.11は来田宣幸氏、Vol.12は川地亜弥子氏、Vol.13は張貞京氏が担当予定である。
- 『応用心理学のクロスロード』Vol.12の執筆依頼と執筆要項が回覧された。

4) 「応用心理士」認定審査委員会（川本利恵子委員長）

- 2019年度前期「応用心理士」の申請は7名であり、委員会の審査により7名全員が認定基準に該当すると判断し、認定した。

5) 国際交流委員会（角山剛委員長）

- ICAP2018における『応用心理学研究』の英文特集号について説明があり、7月末日の締切時点で5本の投稿があった。

6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）

- ・2019年度「学会賞」の「論文賞」は該当なし、「奨励賞」は山本恵美子氏を筆頭著者とすることが、常任理事会で承認された。
- ・2018年度第85回大会「優秀大会発表賞」は、選考の結果、口頭発表は上田真由子氏、第1部門は小林剛史氏、第2部門は埴田健司氏と小林寛子氏、第3部門は藤野美香氏、第4部門は内田誠也氏、第5部門は高橋綾子氏、第6部門は中野友香子氏を筆頭著者とする各発表が受賞することになった。
- ・今大会の口頭発表およびポスター発表に対する「優秀大会発表賞」への投票依頼があった。
- 7) 学会活性・研究支援委員会(古屋健副理事長)
 - ・2018年度「若手会員研究奨励賞」は、生田目光氏が受賞した。
- 8) 倫理委員会(古屋健副理事長)
 - ・特になし。
- 9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会(外島裕委員長)
 - ・2018年度「齊藤勇記念出版賞」の応募は1件あったが、専門性が高かったため「該当なし」となった。
- 10) 学会史編纂委員会(藤田主一理事長)
 - ・学会史編纂委員会の活動内容について説明があった。現在、名誉会員へのインタビューを継続している。
- 2 一般社団法人日本心理学諸学会連合(日心連)について(外島裕担当常任理事)
 - ・公認心理師の職能団体について、アンケートの報告があった。
- 3 心理学検定について(小林剛史心理学検定局常任運営委員)
 - ・第13回心理学検定(2020年8月23日実施予定)の紹介があった。
 - ・第12回心理学検定の申込者数(5,830名)について説明があった。
 - ・受検に際しての合理的配慮に関して説明があった。
 - ・日本心理学会第83回大会(立命館大学)に

おいて、公益社団法人日本心理学会・一般社団法人日本心理学諸学会連合(日心連)との共催「シンポジウム」の紹介があった。

- 4 2018年度第85回大会について(臼井伸之介第85回会委員長)
 - ・大会開催への御礼と、会計報告の説明があった。
- 5 年度会費の振込方法について(市川優一郎事務局長)
 - ・2020年度より年度会費の納入に、口座振替を採用することの説明があった。
- 6 『応用心理学ハンドブック』企画について(藤田主一理事長)
 - ・全16章、各章20トピックの構成で、第87回大会の開催時期を目途に刊行予定である。
- 7 その他
 - ・特になし

V 審議事項

- 1 2018年度決算に関する件(市川優一郎事務局長)
 - ・2018年度「決算書」(案)の説明の後、加藤博己監事より監査報告があった。審議の結果、2018年度「決算書」(案)が承認された。
- 2 2019年度予算に関する件(市川優一郎事務局長)
 - ・2019年度「予算書」(案)の説明があった。審議の結果、2019年度「予算書」(案)が承認された。
- 3 名誉会員推挙に関する件(藤田主一理事長)
 - ・谷口泰富氏を推挙し、承認された。
- 4 2021年度第88回大会(大会当番機関)に関する件(藤田主一理事長)
 - ・第88回大会を山形市の東北文教大学(大会委員長:松田浩平氏)で開催することが提案され、承認された。

- VI 2020年度第87回大会委員長挨拶(来田宣幸大会委員長)
 - ・第87回大会(京都工芸繊維大学)の開催日程は、2019年8月29日(土)~30日(日)の予定である。

以上

2019年度 総会：議事録

日 時：2019年8月24日(土)11時50分～13時15分

場 所：日本大学商学部1号館1303教室

出席者：100名

総会は、司会の市川優一郎事務局長による開会宣言の後、次第にしたがって進められた。

I 理事長挨拶（藤田主一理事長）

- ・総会出席者へ感謝の言葉が述べられた。

II 第86回大会委員長挨拶（外島裕大会委員長）

- ・大会参加者へ感謝の言葉が述べられた。

III 議長選出（市川優一郎事務局長）

- ・外島裕大会委員長が議長を務めることが承認された。

IV 報告事項

1 事業報告

(1) 会員の異動および会費納入状況（市川優一郎事務局長）

- ・2019年3月31日現在、および2019年8月20日現在の一般会員、院生会員、学生会員、賛助会員は、合計6名の会員減少であった。会員数は1,117名である。
- ・2016年度から2019年度の会費納入状況についての説明があった。

(2) 委員会報告

1) 機関誌編集委員会（軽部幸浩委員長）

- ・論文投稿の投稿状況と審査終了論文について説明があった。
- ・機関誌『応用心理学研究』の表紙の色についての説明があった。
- ・2019年8月15日にJ-STAGEへの初回公開が行われ、以降は機関誌発行後の3ヶ月を目途にJ-STAGEに公開していく予定である。
- ・『応用心理学研究』投稿・執筆規程について全面的に改訂を行う。

2) 企画委員会（臼井伸之介委員長）

- ・2018年度の活動報告として、第85回大会にて行われた研修会Aと研究会B、公開シンポジウムの報告があった。
- ・2019年度の活動報告として、第86回大会の研修会Aは高史明氏、研修会Bは内藤哲雄氏であるとの報告があった。

・今年度の公開シンポジウムは、「妖怪と心理学：私たちが得たもの失ったものの」と題して、12月30日（土）東洋大学白山キャンパスで開催予定である。

3) 広報委員会（田中真介委員長）

- ・『応用心理学のクロスロード』の内容を改訂する方針であるとの報告があった。
- ・『応用心理学のクロスロード』Vol.12の発行スケジュールについて、説明と原稿の依頼があった。
- ・各号の編集は、Vol.11は来田宣幸氏、Vol.12は川地亜弥子氏、Vol.13は張貞京氏が担当予定である。
- ・『応用心理学のクロスロード』Vol.12の執筆依頼と執筆要項が回覧された。

4) 「応用心理士」認定審査委員会（川本利恵子委員長）

- ・2019年度前期「応用心理士」の申請は7名であり、委員会の審査により7名全員が認定基準に該当すると判断し、認定した。

5) 国際交流委員会（角山剛委員長）

- ・ICAP2018における『応用心理学研究』の英文特集号について説明があり、7月末日の締切時点で5本の投稿があった。

6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）

- ・2019年度「学会賞」の「論文賞」は該当なし、「奨励賞」は山本恵美子氏を筆頭著者とすることが、常任理事会で承認された。

- ・2018年度第85回大会「優秀大会発表賞」は、選考の結果、口頭発表は上田真由子氏、第1部門は小林剛史氏、第2部門は埴田健司氏と小林寛子氏、第3部門は藤野美香氏、第4部門は内田誠也氏、第5部門は高橋綾子氏、第6部門は中野友香子氏を筆頭著者とする各発表が受賞することになった。

- ・今大会の口頭発表およびポスター発表に対する「優秀大会発表賞」への投票依頼があった。

- 7) 学会活性・研究支援委員会(古屋健副理事長)
 　・2018年度「若手会員研究奨励賞」は、生田目光氏が受賞した。
- 8) 倫理委員会(古屋健副理事長)
 　・特になし。
- 9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会(外島裕委員長)
 　・2018年度「齊藤勇記念出版賞」の応募は1件あったが、専門性が高かったため「該当なし」となった。
- 10) 学会史編纂委員会(藤田主一理事長)
 　・学会史編纂委員会の活動内容について説明があった。現在、名誉会員へのインタビューを継続している。
- 2 一般社団法人日本心理学諸学会連合(日心連)について(外島裕担当常任理事)
 　・公認心理師の職能団体について、アンケートの報告があった。
- 3 心理学検定について(小林剛史心理学検定局常任運営委員)
 　・第13回心理学検定(2020年8月23日実施予定)の紹介があった。
 　・第12回心理学検定の申込者数(5,830名)について説明があった。
 　・受検に際しての合理的配慮に関して説明があった。
 　・日本心理学会第83回大会(立命館大学)において、公益社団法人日本心理学会・一般社団法人日本心理学諸学会連合(日心連)との共催「シンポジウム」の紹介があった。
- 4 2018年度第85回大会について(臼井伸之介第85回会委員長)
 　・大会開催への御礼と、会計報告の説明があった。
- 5 年度会費の振込方法について(市川優一郎事務局長)
 　・2020年度より年度会費の納入に、口座振替を採用することの説明があった。
- 6 『応用心理学ハンドブック』企画について(藤田主一理事長)
 　・全16章、各章20トピックの構成で、第87回大会の開催時期を目途に刊行予定である。

7 その他 　・特になし

V 審議事項

- 1 2018年度決算に関する件(市川優一郎事務局長)
 　・2018年度「決算書」(案)の説明の後、加藤博己監事より監査報告があった。審議の結果、2018年度「決算書」(案)が承認された。
- 2 2019年度予算に関する件(市川優一郎事務局長)
 　・2019年度「予算書」(案)の説明があった。審議の結果、2019年度「予算書」(案)が承認された。
- 3 名誉会員推挙に関する件(藤田主一理事長)
 　・谷口泰富氏を推挙し、承認された。
- 4 2021年度第88回大会(大会当番機関)に関する件(藤田主一理事長)
 　・第88回大会を山形市の東北文教大学(大会委員長:松田浩平氏)で開催することが提案され、承認された。

VI 議長退任

VII 表彰(藤田主一理事長)

- 1 学会賞
 　・藤田理事長より「学会賞」の「奨励賞」の表彰が行われた。
- 2 若手会員研究奨励賞
 　・藤田理事長より「若手会員研究奨励賞」の表彰が行われた。

VIII 名誉会員証授与(藤田主一理事長)

- ・藤田理事長より谷口泰富氏に名誉会員証が授与された。

- IX 2020年度第87回大会委員長挨拶(来田宣幸大会委員長)
 　・第87回大会(京都工芸纖維大学)の開催日程は、2019年8月29日(土)~30日(日)の予定である。

以上

2019年度 第3回常任理事会:議事録

日 時: 2019年8月25日(日)11時50分~12時50分
 　場 所: 日本大学商学部本館34-35会議室
 　出席者: 藤田主一(理事長), 古屋健(副理事長),

市川優一郎、臼井伸之介、角山剛、
上瀬由美子、軽部幸浩、木村友昭、
田中真介、外島裕（以上、常任理事）
小林剛史（心理学検定局常任運営委員）
事務局：市川優一郎（事務局長）、軽部幸浩（幹事）
(敬称略、五十音順)

I 報告事項

1. 各委員会報告

- 1) 機関誌編集委員会（軽部幸浩委員長）
 - ・『応用心理学研究』投稿・執筆規程改訂のためのワーキンググループを設置するところが、8月23日の機関誌編集会議で決定した。ワーキンググループのメンバーの入選に関しては、委員長・副委員長一任で選出する。
 - 2) 企画委員会（臼井伸之介委員長）
 - ・研修会Aの参加者は20名であった。参加者のうち5名に参加証明書を渡した。
 - 3) 広報委員会（田中真介委員長）
 - ・『応用心理学のクロスロード』Vol.12の「常任理事会通信」に、各委員会の活動報告を寄稿してほしいとの依頼があった。
 - 4) 「応用心理士」認定審査委員会（川本利恵子委員長）
 - ・特になし
 - 5) 國際交流委員会（角山剛委員長）
 - ・特になし
 - 6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）
 - ・特になし
 - 7) 学会活性・研究支援委員会（古屋健委員長）
 - ・特になし
 - 8) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（外島裕委員長）
 - ・齊藤勇先生にお会いして、選考基準について相談する。
 - 9) 倫理委員会（古屋健副理事長）
 - ・特になし
 - 10) 学会史編纂委員会（藤田主一理事長）
 - ・特になし
2. 一般社団法人日本心理学諸学会連合（日心連）について（外島裕担当常任理事）
・特になし

3. 心理学検定について（小林剛史心理学検定局常任運営委員）
 - ・特になし
4. 第86回大会について（外島裕大会委員長）
 - ・事前参加者は約190名、初日の当日参加者は約60名、2日目の当日参加者は15名であるとの報告があった。
5. 第87回大会について（来田宣幸大会委員長）
 - ・特になし
6. 『応用心理学ハンドブック』について（藤田主一理事長）
 - ・9月7日（土）に福村出版会議室において、編集会議を行うことになった。
7. その他
 - ・会員へのサービスとして、「大会発表論文集」を約1カ月間、公開（ユーザ認証あり）する。

II 審議事項

1. 2018年度決算に関する件（市川優一郎事務局長）
 - ・特になし
 2. 2019年度予算に関する件（市川優一郎事務局長）
 - ・特になし
 3. 2022年度第89回大会（当番機関）に関する件（藤田主一理事長）
 - ・大会開催を引き受けただける方を紹介してほしい。
 4. 新入会員審査および会員異動に関する件（市川優一郎事務局長）
 - ・自動退会候補者が回覧された。
- 次回の常任理事会は、2019年11月30日（土）に、東洋大学で開催される。

以上

2019年度 第4回常任理事会：議事録

日 時：2019年11月30日(土)11時00分～13時00分
場 所：東洋大学白山キャンパス1号館1607教室
出席者：藤田主一（理事長）、市川優一郎、
臼井伸之介、上瀬由美子、軽部幸浩、
木村友昭、外島裕
(以上、常任理事)

来田宣幸（第87回大会委員長）

事務局：市川優一郎（事務局長）、軽部幸浩（幹事）
(敬称略、五十音順)

I 報告事項

1. 理事長挨拶

- ・理事長より、出席された常任理事の先生方、第87回大会委員長へ感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会（軽部幸浩委員長）

- ・査読中論文については、原著5本、資料5本、短報3本の計13本が審査中である。
- ・『応用心理学研究』第45巻2号は、原著2本、資料1本、実践報告1本、短報1本の論文が掲載予定である。
- ・『応用心理学研究』のJ-STAGE登載開始からのアクセス数は、8月419回、9月657回、10月764回であった。
- ・現在の「投稿・執筆規程」と「機関誌編集規程」を廃案とし、新規に「編集・投稿規程」、「執筆要領」、「審査規程」、「投稿倫理規程」、「オンライン投稿マニュアル」を作成する予定である。

2) 企画委員会（臼井伸之介委員長）

- ・本日の公開シンポジウム開催の案内があった。時間は13時30分～16時、会場は東洋大学白山キャンパス8号館8B11教室である。
- ・第87回大会での「研修会A」は、次の内容を予定している。「研修会B」については未定である。

➤マイクロカウンセリングの理論と応用
(仮題)

講師：福原眞智子氏（名誉会員、常磐大学名誉教授）

司会：玉瀬耕治氏（一般会員、奈良教育大学名誉教授）

3) 広報委員会（田中真介委員長）

- ・『応用心理学のクロスロード』Vol.12は、第1校のゲラ状態である。一部差し換え、一部原稿未提出があるが、年内には全ての原稿が揃う予定である。
- ・企業広告を掲載する準備を進めている。

・発送については、年度末の『応用心理学研究』発行時期に合わせて調整する予定である。

4) 「応用心理士」認定審査委員会（代理：軽部幸浩常任理事）

- ・「応用心理士」の上位資格の設置を検討している。

5) 国際交流委員会（代理：軽部幸浩常任理事）

- ・投稿された論文5本の査読が進行中である。

- ・第86回大会時に委員会を開催し、次の事項を確認した。

- ①審査は主査と副査で行い、審査結果が別れたときには、第3の審査者に依頼する。

- ②非会員への審査依頼に対しては、謝札を用意する。

- ③本年度中に全ての審査作業を終えたい。

6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む） (木村友昭委員長)

- ・第86回大会「優秀大会発表賞」の審査が終了した。

7) 学会活性・研究支援委員会（代理：市川優一郎事務局長）

- ・2019年度「若手会員研究奨励賞」には2件の応募があった。追加募集を行わず、このまま審査に入る。

8) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（外島裕委員長）

- ・齊藤勇先生には応募基準の見直しについて検討いただくことになった。

9) 倫理委員会（代理：市川優一郎事務局長） ・特になし

10) 学会史編纂委員会（藤田主一理事長）

- ・年度内に数名の名誉会員へのインバウンドを計画している。

3. 一般社団法人日本心理学諸学会連合（日心連）について（外島裕担当常任理事）

- ・12月15日（日）に社員総会が予定されている。

- ・東京大学弥生講堂一条ホールで、「諸分野からの公認心理師への期待」と題する日心連シンポジウムが企画されている。

4. 心理学検定について（代理：市川優一郎事務局長）
 - ・日本心理学会第 83 回大会で、公募シンポジウム「大学の心理学教育に活かす心理学検定の役割」を行った。
 - ・第 13 回心理学検定は、2020 年 8 月 23 日（日）に実施される。
5. 第 86 回大会会計報告について（外島裕大会委員長）
 - ・日本応用心理学会第 86 回大会の収支報告があった。
6. 第 87 回大会について（来田宣幸大会委員長）
 - ・2020 年 8 月 29 日（土）～30 日（日）に、大会開催を予定している。
 - ・大会事務局体制について報告があった。
 - ・大会開催の内容について報告があった。
7. 『応用心理学ハンドブック』について（藤田主一理事長）
 - ・原稿が集まってきたので、印刷所に入稿してゲラを作成する段階である。
 - ・第 87 回大会までに発刊する予定である。
8. 年会費納入の口座振替について（市川優一郎事務局長）
 - ・アプラスとの契約が完了した。
 - ・口座引落は、2020 年 4 月 27 日におこなわれる。
9. その他
 - ・なし

II 審議事項

1. 優秀大会発表賞の選考に関する件（木村友昭委員長）
 - ・第 86 回大会「優秀大会発表賞」（口頭発表、ポスター発表）の審査方針が説明された後、各部門の候補者が推薦され、審議の結果、承認された。

【口頭発表】

創造性とユーモア

森田亜矢子（関西大学人間健康学部）

【ポスター発表】

【第 1 部門】 原理・認知・感情

光沢の有無による視覚的な触感の違いに関する研究

稻葉隆（日本カラーデザイン研究所）

【第 2 部門】 教育・発達・人格

子どもをもたない有配偶女性の幸福感—就労形態からの検討—

沼山博（山形県立米沢栄養大学健康栄養学部）・福島朋子（岩手県立大学社会福祉学部）

【第 3 部門】 臨床・福祉・相談

専門病院入職初期の職員に対する不安緩和と関係性構築を目的としたグループワークの効果

上野まどか（明治学院大学心理学部付属研究所）・いとうたけひこ（和光大学現代人間学部心理教育学科）

【第 4 部門】 健康・スポーツ・看護・医療

社会的望ましさを排除した体罰容認度を測定する潜在的指標の開発：ST-IAT を用いた検討

大工泰裕（大阪大学大学院人間科学研究科/日本学術振興会）・内田遼介（流通科学大学人間社会学部）・寺口司・綿村英一郎（大阪大学大学院人間科学研究科）・釣原直樹（東筑紫短期大学食物栄養学科）

【第 5 部門】 犯罪・社会・文化

行動の道徳性判断と関係流動性、文化的自己観の関連

伊坂裕子（日本大学国際関係学部）

【第 6 部門】 産業・交通・災害

異質のリスク—ベネフィット状況におけるリスクテイキング

橋本采栄・森泉慎吾・中井宏・臼井伸之介（大阪大学大学院人間科学研究科）

2. 新入会員審査および会員異動に関する件（市川優一郎事務局長）

・2019 年 11 月 27 日現在の会員異動

入会者：20 名、退会者：9 名、一般会員から名誉会員：1 名、院生会員から一般会員：2 名、会員合計：1,207 名である。

・9 名の入会希望の申請があり、審査の結果、全員が承認された。

次回の常任理事会は、2020 年 3 月（日付未定）に、日本体育大学で開催される。

以上

会員異動

(2020年1月25日～2020年6月10日の異動)

入会者

岡部 忠司	工藤 あづさ	小林 茂雄
蘇 心寧	中尾 達馬	永松 有紀
山根 成美	渡辺 めぐみ	

(以上、敬称略)

謹弔

名誉会員の肥田野直氏（1920.7.9-2020.1.14）が、
ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

退会者（希望退会）

雨越 康子	鎧本 智昭	石井 隆之
一柳 志帆	今林 俊一	大石 健二
大野 夏代	岡村 靖人	岡村 佳伸
小川 拓郎	長船 直子	鹿野 麗子
楠神 健	黒川 優美子	坂元 章
作部 径子	志田 久美子	嶋野 重行
謝 穎	杉村 正子	鈴木 秋絵
鈴木 恵	園田 直子	高橋 彩
高間 弘明	田口 真二	竹内 謙彰
田嶋 善郎	立花 奈緒美	九十九 綾子
寺内 朋子	徳吉 陽河	所 正文
友野 聰子	外山 美樹	猶原 宗雄
中島 康明	中原 弘之	西野 弓月
芳賀 繁	橋本 秀美	畠中 香織
鳩野 洋子	原 光広	肥田野 直
堀内 愛子	正井 ハンナ	松永 保子
宮川 治樹	廻谷 早紀	山口 智子
山口 裕幸	吉田 俊和	

賛助会員

長野県警察本部 刑事部科学捜査研究所

(以上、敬称略)

退会者（会員資格喪失）

赤坂 隆宏	安藤 昌也	石原 典忠
加藤 信子	小薬 祐子	才野 雄大
新出 泰子	鈴木 忠雄	高橋 千佳
高山 藍	田村 早苗	戸田 岳志
新津 律子	西村 眇	松田 瞳代
松原 健太	松本 みゆき	森崎 順子
柳澤 節子	横田 克哉	吉田 浩之
米村 敬子		

(以上、敬称略)